



産学・地域連携推進機構

# 知財部門ニュース

2009年1月5日  
(22号) [通番51号]  
発行：鳥取大学  
産学・地域連携推進機構  
編集：知的財産管理運用部門  
TEL/0857-31-6000(内2765)

## 目次

1月の特許相談会	1
山陰(鳥取・島根)発新技術説明会報告	2
紹介します!シリーズ第8回 - 玉井博康 -	3
2008年を回顧すれば	4

## 1月の特許相談会



今月は鳥取地区で同時に開催されます。相談をご希望の方は予約をお願いします。

平成20年度内の特許出願について、新規案件は必ず1月にご相談ください。

【鳥取地区1】相談員：富田憲史弁理士(医獣・バイオ関係他)

日時：1月14日(水)13:30より  
場所：産学・地域連携推進機構2階 研修室

【鳥取地区2】相談員：滝本智之弁理士(電機・機械関係他)

日時：1月14日(水)13:30より  
場所：産学・地域連携推進機構2階 会議室

- ※ 2月の特許相談会(鳥取・米子地区)富田弁理士2/13(金 米子地区)、滝本弁理士2/12(木)
- ※ 3月の特許相談会(鳥取地区のみ) 富田弁理士3/12(木)、滝本弁理士3/11(水)

## 卒論・研究発表前に必ず特許出願

特許に関する相談は、随時受け付けています。  
希望される場合は事前に連絡をお願いします。

相談員：佐々木茂雄 知的財産管理運用部門長  
清水克彦 産官学連携プロジェクト研究者(プロジェクト研究員)  
山岸大輔 NEDOフェロー(コーディネーター)

場所：産学・地域連携推進機構2F 知的財産管理運用部門  
電話：0857-31-6000(直通)(内線2765)  
FAX：0857-31-5474(専用)  
メールアドレス：  
知財部門メールリスト / chiteki@adm.tottori-u.ac.jp  
産学・地域連携推進機構HP：  
URL / http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/



本年もよろしくお祝い申し上げます。

知的財産管理運用部門員

(後列左から) 佐々木部門長、矢部事務補佐員、清水プロジェクト研究員  
(前列左から) 太田事務補佐員、山岸NEDOフェロー

# 山陰（鳥取・島根）発新技術説明会報告

今年で2回目の「鳥取・島根新技術説明会」が、12月5日に独立行政法人科学技術振興機構「STホール(東京)」で開催されました。

この説明会は、鳥取県（鳥取大学4件、鳥取県産業技術センター1件）と島根県（島根大学4件、島根県産業技術センター1件）が、研究成果の実用化を促進することを目的に連携し開催したものです。企業との間で産学連携が図られることが大いに期待されます。鳥取大学4件への参加者は延206名でした。

(なお、発表4件の詳細は、知財部門ニュース12月号をご覧ください)



医学部  
三浦典正 准教授

生薬に含まれる  
新規抗がん成分  
の探索と創薬への  
応用



医学部  
飯塚舜介 准教授

タンパク質の立体  
構造決定とインタ  
ラクトーム解析



工学研究科  
齊藤剛史 助教

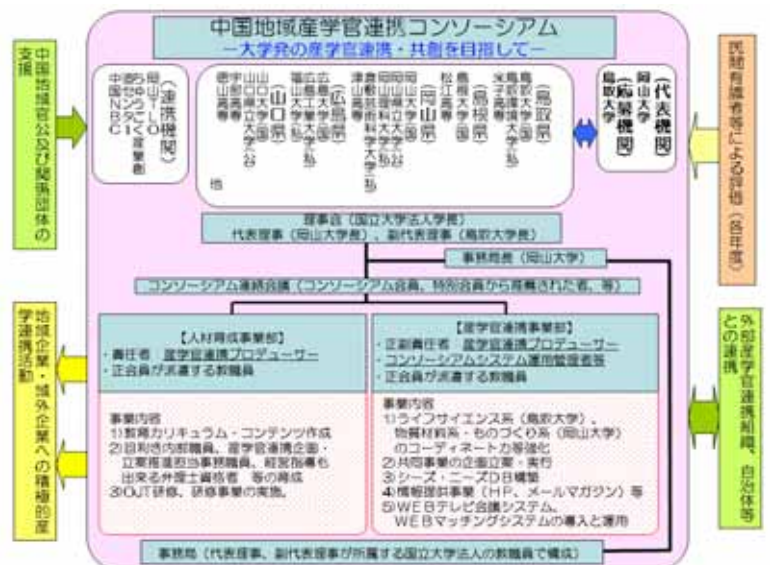
口部形状と頭の動  
きを利用した文字  
入力システム



工学研究科  
李 仕剛 教授

車側面に取り付  
けられた魚眼カ  
メラによる車線  
検出

なお、鳥取大学については、岡山大学と応募し採択された「中国地域産学官連携コンソーシアム」への取組み状況を中心に紹介しました。(右：ポスターの一部抜粋)



## 紹介します！ シリーズ第8回 - 玉井博康 -

今年度は5月から知的財産管理運用部門に協力していただいている学外所属職員等をシリーズでご紹介しています。第8回目の今月は、地方独立行政法人鳥取県産業技術センター企画管理部企画室企画員で、平成20年11月から「鳥取大学知的財産活用連携会議」に鳥取県産業技術センター代表の委員として参画されている玉井博康氏です。



### 〔経歴（概略）〕

生まれは、鳥取県の中部に位置する北栄町（旧大栄町）。北部の日本海に面する砂丘畑での砂丘らっきょうや砂丘ぶどう、砂丘ながいも、南部の丘陵地帯に広がる黒ぼく畑の大栄すいか等の施設野菜等、地域の自然条件を活かした多様な農産物が生産され、西日本有数の農業どころとして知られています。高校在学当時、第2次オイルショックの最中で資源枯渇が叫ばれていました。鳥取の地を離れ、京都の大学に進学、工学部資源工学科では有用鉱物の分離回収技術を専攻しました。学生時代はバイトに明けくれ、紆余曲折の末何とか大学を卒業。



玉井博康氏

父の薦めもあり 1991 年に鳥取県入庁。産業技術センター（旧鳥取県工業試験場）に配属となり、金属・無機材料の試験分析や機能性新素材の応用に関する研究開発に従事しました。2007 年 4 月に企画部青少年・文教課へ派遣となり、鳥取大学をはじめとする県内の高等教育機関の窓口として、環境学術研究振興の補助金等を担当しました。今年度の 4 月より当センターの企画管理部企画室に異動となり、知財担当として今日に至っております。

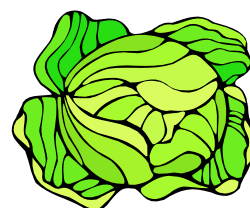
当センターは地方独立行政法人に移行し 2 年目となります。県内中小企業のホームドクターとして、企業ニーズに基づく産業技術に関する試験研究とその成果の普及に努め、職員一丸となって鳥取県の産業活性化に全力を尽くしております。世界経済は百年に一度という未曾有の局面を迎え、国内・県内の産業構造は今まさに大転換を余儀なくされようとしています。本県の智慧を結集した「知的財産の創造」こそ唯一、本県の明るい未来を築く上で不可欠ではないかと考える次第です。鳥取大学の知的財産管理運用部門をはじめとする教職員の皆様方と手を携えながら、お役に立てるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 〔趣味〕

趣味といえるかどうかわからないのですが、子供の頃より祖父母の畑仕事を見ていたからでしょうか、近年「土いじり」に関心が向いています。全くの初心者ですから、そんなには出来ませんが、ささやかな我が家の庭で、今回初めて「葉もの野菜」に挑戦しました。訳のわからない雑草に囲まれ、多くの青虫に囓られながらも、丸々としたキャベツが無事結球しました。



ご多忙中、投稿と写真をありがとうございました。私も今年は春夏野菜に挑戦しましたが、葉物は本当に虫との競争ですね。キャベツはいろいろな料理に使えるので、喜ばれたでしょうね。あまるようならお手伝いしますが…。育てた野菜の味をまた聞かせてください。今後ともよろしくお願い致します。



# 2008年を回顧すれば！



## 外部資金獲得

文部科学省「産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）」に、本学と岡山大学とが応募した「中国地域産学官連携コンソーシアム」採択（6月）

## 規程類の整備

現時点での「鳥取大学利益相反方針」の改定を策定。その手直しを実施（4月）  
「鳥取大学商標取扱規則」制定・施行（5月）  
鳥取大学における大学発ベンチャーの認定に関する規則」制定・施行（7月）

## セミナー等の開催

JP-NET システム説明会を開催（3月）

## イベント等の開催

「C I C 東京新技術説明会」で発表2件（7月）  
「環境フェスタ 2008・大学見本市」で展示2件（7月）  
「イノベーション・ジャパン 2008」で発表1件、展示2件（9月）  
「産学官連携フェスティバル 2008」で発表12件、展示3件（10月）  
「山陰（鳥取・島根）発新技術説明会」で発表4件、展示1件（12月）

## 定例特許相談会

毎月2回（電機・機械関係他、医獣・バイオ関係の各1回）開催  
そのうち医学部への対応のため、医獣・バイオ関係は偶数月に米子地区で開催  
併せて先行技術調査も実施

## 知財有効活用・ライセンス支援

特許・ノウハウ・ライセンス契約交渉支援他（通年）

## 知財教育

前期主要科目「技術と知的財産」受講生10名（4～8月）  
知財ゼミ 受講生2名（卒論1名、修論1名）  
鳥取大学公開講座「見て聞いて体験しよう 情報セキュリティ」受講生13名（11月）  
知的財産インターンシップ実習 実習生3名（8～9月）

## 知財部門ニュースの発行（通番：Q&A）

- 1月号(39号)：「知的財産の活用評価推進プロジェクト( ) - 知的財産権の活用について - 」
- 2月号(40号)：「2007年度内の研究発表と特許出願について」
- 3月号(41号)：「鳥取大学所蔵の知的財産関係図書」
- 4月号(42号)：
- 5月号(43号)：「平成19年度知的財産管理運用部門活動実績」
- 6月号(44号)：「学生からの質問に答えて」
- 7月号(45号)：
- 8月号(46号)：「『鳥取大学における大学発ベンチャーの認定に関する規則』の制定」
- 9月号(47号)：「『鳥取大学における大学発ベンチャーの認定に関する規則』の制定」～ 規則の内容紹介～
- 10月号(48号)：「知的財産権の秘密漏えい防止」
- 11月号(49号)：「スーパー早期審査の試行開始」
- 12月号(50号)：「著作権～最近の著作権の状況について」

## 人事異動

「中国地域産学官連携コンソーシアム構想事業」産学官連携プロジューサーとして清水克彦氏採用、併せてプロジェクト研究員として、知的財産管理運用部門に配属。（9月1日付）  
押田信嘉事務補佐員退職（11月30日付）

## 編集後記

知的財産管理運用部門では、1月から新しい事務補佐員として太田紀子さんが採用されました。また新たな気持ちで部門全員が一丸となつてがんばりますので、ご協力よろしくお願い致します。（Y）

## 【太田紀子さんから一言】

新年からお世話になります。新たな仕事でわからない事も多いと思いますが、みなさまのご協力をいただきながらがんばっていききたいと思います。よろしくお願いします。

